

身近になったマイナンバー制度を理解する



マイナンバー実務検定

総務・人事・経理・IT技術者・管理職に必須のマイナンバー知識



マイナンバー実務検定を過去に受験した経験の有る方
[ワンスモアキャンペーン実施中]

受験料
10%
割引

または

改訂新版
マイナンバーの教科書
無料プレゼント



この機会にぜひお申込みください。

試験日程

第34回

2023年 6月18日 (日)

申込期間

2月21日 (火) ▶ 5月11日 (木)

※公開会場、オンライン・ライブ検定、CBT 会場受験も同日締切
※会場によっては期日前に申込受付を締切ることがございます。

実施概要

	試験時間	検定料
1級	10:00~12:15	11,000円(税込)
2級	10:00~11:45	8,800円(税込)
3級	10:00~11:15	7,700円(税込)

※試験を10名以上同時に申し込まれますと割引価格がご利用いただけます。
31名以上同時にお申し込みをされる場合は、当協会までお電話ください。

オンライン・De・資格キャンペーン

—こんな時代だから資格を取ろう—

マイナンバー実務検定 SMART 合格講座

[収録内容]

- ・ SMART 動画 4時間50分
- ・ SMART 答練 2時間30分
- ・ SMART 模試 1級・2級・3級 1回分
- ・ 「【改訂新版】マイナンバーの教科書」付

オンライン de 資格キャンペーン

5,500円(税込) 引き

★★★★★★★★



定価

15,400円(税込)のところ

今だけ特別価格

⇒ 9,900円(税込)

詳しくは ▶ https://www.joho-gakushu.jp/smartinfo/k_nns/

公開試験会場

【公開会場型試験】

札幌・仙台・東京・横浜・埼玉・千葉
名古屋・津・大阪・神戸・福岡
全国11会場にて開催

※会場の詳細につきましては、ホームページをご確認ください。

【オンライン・ライブ検定 (IBT 試験)】

自宅や会社などで、パソコンと 360° 全周
Web カメラを使用して受験可能

※Web カメラは協会からレンタルをしております。

テストセンターでの受験スタート

CBT 試験会場

TC(テストセンター)に受験のためのパソコンが設置されていて、受験生が準備する必要はありません。

北海道…TAC 札幌校	愛知……TAC 名古屋校
宮城……TAC 仙台校	大阪……TAC なんば校
東京……TAC 八重洲校	神戸……TAC 神戸校
TAC 池袋校	広島……TAC 広島校
TAC 水道橋校	福岡……TAC 福岡校
TAC 立川校	※会場は少数定員となります
千葉……TAC 津田沼校	
神奈川…TAC 横浜校	

CBT 試験の詳細はホームページをご確認ください

全情協が実施している各種検定試験

このほかにも多数の資格試験を開催中です。詳しくはホームページをご確認ください。



個人情報保護士認定試験

法改正により全ての事業者に個人情報保護法が適用されます。



情報セキュリティ管理士認定試験

情報セキュリティリスクと対策に精通したエキスパートを認定



情報セキュリティ初級認定試験

情報化社会の必須知識！セキュリティ対策の基本知識の理解



DX 推進アドバイザー認定試験

DX 実現に向けて議論したアドバイスできる人材



DX オフィサー認定試験

DX 実現に向けて各種のオフィサーとして活躍できる人材



DX パスポート試験

DX の基礎を学ぶ検定試験



企業危機管理士認定試験

企業危機マネジメントのプロを養成する資格



マイナンバー実務検定 (1~3級)

マイナンバー制度を理解し、適正な取扱いをするための資格



マイナンバー保護士認定試験

マイナンバー法の理解・安全管理・セキュリティを学ぶ資格



認定ハラスメント相談員Ⅰ種試験

ハラスメントを未然に防ぐ為の頼れるエキスパートを養成する資格



ハラスメントマネージャーⅠ種認定試験

ハラスメントの基礎知識から管理体制の構築を行う実務能力を認定



個人情報保護実務検定 (1~2級)

個人情報保護法の理解と保護の実践力を身につける

お申込みはホームページから ▶

<https://www.my-number.or.jp/>

マイナンバー検定

検索



一般財団法人
全日本情報学習振興協会

後援：角川アスキー総合研究所

お問合せ先



03-5276-0030

東京都千代田区神田三崎町 3-7-12
清話会ビル 5F FAX:03-5276-0551

試験内容・過去問題

	3級	2級	1級
出題範囲	- 番号法成立の経緯・背景 - 番号法の概要 - 個人と番号法 - 民間企業と番号法 - 地方公共団体・行政機関・独立行政法人等と番号法 - 番号法のこれから - 罰則 - 特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドライン（事業者編） - 関連法令等	- 番号法の背景・概要 - 第1章 総則 - 第2章 個人番号 - 第3章 個人番号カード - 第4章第1節 特定個人情報の提供の制限等 - 第4章第2節 情報提供ネットワークシステムによる特定個人情報の提供 - 第5章第1節 特定個人情報保護評価等 - 第5章第2節 行政機関個人情報保護法等の特例等 - 第6章 特定個人情報の取扱いに関する監督等 - 第6章の2 機構処理事務の実施に関する措置 - 第7章 法人番号 - 第8章 雑則 - 第9章 罰則 - 附則 - 特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドライン（事業者編） - 関連法令等	- 番号法の背景・概要 - 第1章 総則 - 第2章 個人番号 - 第3章 個人番号カード - 第4章第1節 特定個人情報の提供の制限等 - 第4章第2節 情報提供ネットワークシステムによる特定個人情報の提供 - 第5章第1節 特定個人情報保護評価等 - 第5章第2節 行政機関個人情報保護法等の特例等 - 第6章 特定個人情報の取扱いに関する監督等 - 第6章の2 機構処理事務の実施に関する措置 - 第7章 法人番号 - 第8章 雑則 - 第9章 罰則 - 附則 - 特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドライン（事業者編） （行政機関等・地方公共団体等編） - 金融業務における特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドライン - 関連法令等
合格基準	70%以上の正答		
試験時間	60分	90分	120分
問題数	50問	60問	80問

合格者の声

じっくり勉強し
2級に合格しました。



I T系管理部部长
(男性 43歳)

前回のマイナンバー実務検定3級に続き、今回は2級にチャレンジし、合格しました。個人番号を取り扱う仕事をする上で、2級合格は非常に重要であると考えたからです。テキストを繰り返し読み、過去問題を徹底して解いたことで、苦手な部分を解消できました。マイナンバーの取扱いを厳正に行わないと、企業イメージを損ねかねません。

マイナンバー実務検定の受験をきっかけに、マイナンバー制度の知識を深め、安全管理の強化に一層努めたいと思います。

本検定の参考書籍



【改訂新版】
マイナンバー
の教科書
著：弁護士
水町 雅子
¥2,200(税込)



【新版】
マイナンバー
実務検定
精選過去問題集
(1・2級)
各¥1,980(税込)

マイナンバー実務検定を過去に受験した経験の有る方
【ワンスマアキャンペーン実施中】

受験料10%割引

または

改訂新版
マイナンバーの
教科書
無料プレゼント

この機会にぜひお申込みください。

マイナンバー実務検定 過去問題に挑戦

【問】個人番号に関する以下のアからエまでの記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。〔2級〕

- ア. 外国人は、日本に居住していて住民票がある者であっても、個人番号の付番の対象になっていない。
- イ. 外国に住所があるなど、日本に住所がない場合であっても、日本の国籍を有する者は、個人番号の付番の対象となっている。
- ウ. 個人番号は、住民票の記載事項とはされていない。
- エ. 死者の個人番号には、番号法で「個人番号」を対象としている利用制限等の規定が適用される。

解答:エ

【問】個人番号カードに関する以下のアからエまでの記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。〔3級〕

- ア. 個人番号は、個人番号カードの裏面に記載されている。
- イ. 発効日において20歳以上の者の個人番号カードの有効期限は5年である。
- ウ. 国外に転出した者の個人番号カードは、効力が失われる。
- エ. 個人番号カードのICチップ内には、氏名、住所、生年月日、性別、個人番号等が記録されているが、税や年金などの情報は記録されない。

解答:イ

法改正によりマイナンバーの利用範囲が広がっています



- 戸籍事務
 - 旅券事務
 - 預貯金付番
(口座の名義人の特定・現況確認等に係る事務)
 - 医療分野（管理・連携等に係る事務）
 - 自動車の登録に係る事務 など
- ※現在予定されているものも含んでいます。

民間ではこのような部署の方に必要となります

- ・企業の人事、総務、経理、庶務の方
- ・社会保障、税務関連のお仕事をされる方
- ・企業の情報管理者
- ・個人番号関係事務を行う方

行政分野ではこのような方に必要となります

- ・行政機関、地方公共団体、独立行政法人で個人番号利用事務に携わる方

試験と同時申込でお得に学習！

マイナンバー実務検定 SMART合格講座

重要点を徹底理解 最短の学習で合格する

基礎から合格レベルまでの、要点や重要ポイントの映像講座4時間程度を、好きな時に好きなだけ分割して学ぶことができます。並行して出題傾向をつかみ、知識を整理するために、SMART答練で重要問題に挑戦して実践力をつけます。SMART答練では、1問ごとに講師が、出題のねらいと、解答と解説を行います。

【受講料】15,400円(税込)⇒**9,900円(税込)**

【詳細】https://www.joho-gakushu.jp/smartinfo/k_nns/

【講座内容・所要時間】

- ・SMART 動画 4時間50分
- ・SMART 答練 2時間30分
- ・SMART 模試 1・2・3級
- 【講師】 弁護士 坂東利国

オンライン・ライブ検定とは

オンライン・ライブ検定をご希望の方は、パソコンと360°全周 Web カメラをご用意下さい。

本検定試験はいわゆる「ネット検定」と言われるものと異なり、360°全周 Web カメラで本人確認と不正防止を行うシステムを備えて、カンニングを防止して実施する、公開会場と同等の厳格な検定試験です。

合格者には合格証書、本人の写真付きの合格カードを発行いたします。「オンライン・ライブ検定」は以下の要領により実施いたします。

なお、スマートフォン、タブレットは利用できません。

【受験会場】

受験可能な場所

会社、学校、自宅、知人宅など、どこでも、インターネット環境が整備されていれば受験することが可能です。ただし、試験中は他の人と話したり、接触したりすることはできませんので、できるだけ静かな場所、他の人と接触しない場所をお選び下さい。海外で受験することもできます。ただし、環境整備はご自身の責任でお願いします。



【受験者の方にご用意いただくもの】

- 1. パソコン・360°全周 Web カメラ**
デスクトップパソコン、ノートパソコンの何れでも受験可能です。スマートフォンやタブレットでは受験できません。問題も回答欄もパソコン上です。受験には360°全周 Web カメラが必須となります。
- 2. インターネット環境の整備**
インターネットは、有線でもWi-Fiでも構いません。
- 3. 受験時の持ち物**
問題用紙がありませんので、メモを必要とする場合のために、A4までの白紙1枚と鉛筆又はボールペンなど1〜2本を机の上に持ち込むことができます。ただし、筆箱の利用は禁止です。書籍、ノート、スマートフォン、その他の物品は机の上に置くことができません。



【オンライン・ライブ検定 受験の流れ】

- 1. オンライン・ライブ検定システムによる受験方法**
 - ①試験開催日の一週間前までにメールで「受験票」を配信します。
 - ②本試験用のサイトにアクセスし、「受験票」に記載の受験者IDとパスワードでログインしてください。
 - ③ログイン後、AIによる顔認証がございいますので Web カメラに顔を向け顔認証を行ってください。
 - ④360°全周 Web カメラを横に置いて、受験中に自分の顔、手元、パソコン画面の3点が映るかを確認して下さい。
 - ⑤検定システムがスタートすると、まずオンライン映像により「受験上の注意」を行います。
 - ⑥次に「用意」「始め」の合図があったら、「開始ボタン」を押して試験を開始します。自動的に試験が開始し、制限時間がカウントダウンされ、所定の時間が経過すると自動的に試験が終了されます。
 - ⑦制限時間になると、映像で試験終了のアナウンスと解答速報、証書交付などのスケジュールが告知され試験がすべて終了します。
- 2. オンライン・ライブ検定システムによる回答方法**
 - ①本検定システムでは、2択・4択・5択の3種類の設問形式があり、設問が1番より、順次表示されますので、回答を選択して下さい。
 - ②なお回答は、必ずしも順次答える必要はありません。飛ばしておいて後で答えたり、戻って訂正することもできます。

※本リーフレットは、協会ホームページよりPDFにてダウンロード頂くことができます。社内回覧などにご利用下さい。

<https://www.my-number.or.jp/>

■お問合せ先
03-5276-0030

一般財団法人
全日本情報学習振興協会
東京都千代田区神田三崎町3-7-12 清話会ビル5F
FAX:03-5276-0551